

## ESD・SDGs 連続オンラインセミナー2025 リカレント評価規準表

奈良教育大学 ESD・SDGs センター

### 到達基準(コアスタンダード)

1. SDGs 達成と現代社会の諸課題の解決に向けた多様な取組について学び、自身の業務や社内、学校内において、どのように持続可能な社会形成に参画する取組を展開するかを想定できる。
2. 持続可能な社会形成のために多様なステークホルダーと協働したり、広く社会に発信・啓発したりする取組について学び、持続可能な社会づくりへの啓発や参画、協働など、自身の業務や社内、学校内における「持続可能な社会の創り手の育成 (ESD)」に向けた取組を想定できる。

### 到達度(ルーブリック)

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目 1	SDGs 達成と現代社会の諸課題の解決に向けた多様な取組について学び、自身の業務や社内において、どのように持続可能な社会形成に参画する取組を展開するかを具体的に想定できる。	SDGs 達成と現代社会の諸課題の解決に向けた多様な取組について学び、自身の業務や社内において、どのように持続可能な社会形成に参画する取組を展開するかを想定できる。	SDGs 達成と現代社会の諸課題の解決に向けた多様な取組について学び、自身の業務や社内において、どのように持続可能な社会形成に参画する取組を展開するかを想定できない。
評価項目 2	持続可能な社会形成のために多様なステークホルダーと協働したり、広く社会に発信・啓発したりする取組について学び、持続可能な社会づくりへの啓発や参画、協働など、自身の業務や社内、学校内における「持続可能な社会の創り手の育成 (ESD)」に向けた取組を具体的に想定できる。	持続可能な社会形成のために多様なステークホルダーと協働したり、広く社会に発信・啓発したりする取組について学び、持続可能な社会づくりへの啓発や参画、協働など、自身の業務や社内、学校内における「持続可能な社会の創り手の育成 (ESD)」に向けた取組を想定できる。	持続可能な社会形成のために多様なステークホルダーと協働したり、広く社会に発信・啓発したりする取組について学び、持続可能な社会づくりへの啓発や参画、協働など、自身の業務や社内、学校内における「持続可能な社会の創り手の育成 (ESD)」に向けた取組を想定できない。